第１号様式　【記入例】

農地の形状変更（水田の畑地転換又は盛土・切土）届出書

令和○○年○○月○○日

可児市農業委員会長　様

届　出　人
（土地所有者）　住所　可児市広見一丁目１番地
氏名　可児川　太郎
電話　0574-62-1111

届　出　人
（耕 作 者）　住所　可児市広見一丁目１番地
氏名　可児川　太郎
電話　0574-62-1111

どちらかを抹消してください

下記（水田を埋め立てて畑地に転換するので、~~農地の盛土・切土をするので、~~）届出します。

なお、形状変更後は、作付け及び栽培管理に十分に努力し、農地保全に努めます。

記

田への用水路及び排水路がそれぞれ独立しているのか、兼ねているのかの区別、該当を○で囲んでください

(1) 土地の表示

大　字	字	地　番	地　目		地　積（㎡）	① 土地の利用区分	② 用排水路の区分
			台帳	現況			
広見	田白	8000	田	田	1,000	1・(2)・3	(分 離)・兼 用
						1・2・3	分 離・兼 用
						1・2・3	分 離・兼 用
						1・2・3	分 離・兼 用
計							

①②欄については、該当するものに○を付してください。

①土地の利用区分は次のとおりです。
1．農振農用地区域内　　2．農振農用地区外　　3．用途地域内

(2) 農地の形状変更理由（具体的に）

水田の排水が悪く、農業機械の作業に支障があるため。

(3) 農地の形状変更時期

受理通知日から令和○○年○○月○○日頃まで

(4) 埋立ての用土(どのような土を使うのか)

近隣で農地転用した場所の土

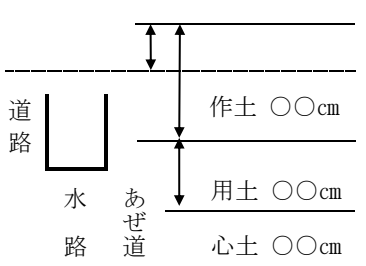
(5) 用土の採取場所

転用済の可児市広見〇〇地内

(6) 作土の採取場

申請地の作土を〇〇地内に仮置きし、用土を埋め戻した後に作土を戻す。

(7) 埋立て方法



道路面から(5) cm(上・(下))

(1) 作土厚　用土面から　(20) cm

(2) 用土厚　現在の心土面から　(25) cm

(8) 形状変更後の処理(付近への防除策等)及び付近の水路、水田への土砂流出防止対策(施工図面添付)

隣接した農地等への土砂雨水の流出を防ぐため、ブロック積みをする。

(9) 隣地農地所有者への説明(同意書の添付は不要)

隣地農地所有者・耕作者へ令和〇〇年〇〇月〇〇日に説明した。

(10) 形状変更後の作付け体系計画

作物名	初年度			次年度	
	作付期	果樹の場合の植栽本数	備考	作付期	備考
なす、ウリ等	4月～12月			4月～12月	